

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年7月11日

「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2025年4～6月期 速報）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 大森 範久）は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2025年4～6月期 速報）」をとりまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況総合判断 DI は、「悪化」超 18.7%と、前期（2025年1～3月期）の同 20.7%から 2.0ポイント（以下、pt）の上昇にとどまり、概ね横ばいとなりました。業種別にみると、製造業は「悪化」超 21.8%と、前期（同 26.2%）を 4.4pt 上回りました。非製造業は「悪化」超 16.6%と前期（同 16.5%）から横ばいとなりました。

製造業では素材業種、その他製造業の「悪化」超幅が縮小しました。非製造業では小売業で「悪化」超幅が縮小したものの、卸売業、運輸・倉庫業で「悪化」超幅が拡大しました。

先行き（7～9月期）は、全産業で「悪化」超 22.4%と今期から 3.7pt 低下の見込みとなっています。業種別では、製造業が 13.7pt 低下と大幅に悪化、非製造業が概ね横ばいとなる見込みです。なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、1970年以降50年以上にわたり、四半期ごとの定期調査として実施しているものです。従業員数300人以上の大企業から30人未満の企業まで、茨城県内企業を幅広く調査対象としています。今回の調査期間は2025年6月2日～20日、有効回答数は201社（製造79社、非製造業122社）でした。

以上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5
Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp

【茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2025年4～6月期速報）】

2025年4～6月期の県内企業の景況感は全産業で概ね横ばい

—先行きの景況感は製造業で大幅悪化（△13.7pt）の見通し—

今回調査の概要

自社業況総合判断DIは全産業で2.0pt上昇、製造業は上昇・非製造業は横ばい

茨城県内企業の景況感を表す自社業況総合判断DI[※]は、全産業ベースで「悪化」超18.7%と、前期（2025年1～3月期）の同20.7%から2.0ptの上昇にとどまり、概ね横ばいとなった（図表1）。DI算出に用いる自社業況総合判断の内訳をみると、「横ばい」が63.1%（前期比1.4pt低下）と最も多く、次いで「悪化」が27.8%（同0.3pt低下）、「好転」が9.1%（同1.7pt上昇）となっており、いずれも小幅の変化にとどまった（図表2）。

自社業況総合判断DIを業種別にみると、製造業は「悪化」超21.8%と、前期（同26.2%）を4.4pt上回った（図表3-1）。素材業種、その他製造業の「悪化」超幅が縮小した。一方、非製造業は「悪化」超16.6%と前期（同16.5%）から横ばいとなった（図表3-2）。小売業で「悪化」超幅が縮小したものの、卸売業、運輸・倉庫業で「悪化」超幅が拡大した。従業員規模別では、30人未満、300人以上が上昇し、30～99人、100～299人は低下した（図表3-3）。

製造業では一部で米国トランプ関税が影響、非製造業では異常気象も悪化要因に

業績面の指標を業種別にみると、製造業では、生産判断DIが「減少」超10.2%と、前期比1.1pt低下、受注判断DIが「減少」超13.0%と、前期比1.9pt上昇といずれも概ね横ばいとなった（図表4）。一部の企業からは、「川上の取引先より中国や北米向け商品関連の受注が増加した。米トランプ関税に対する駆け込み需要とみられる」（はん用機械）、「米トランプ関税の影響で、既に得意先では受注が減少しており、当社にも影響がでる見込み」（はん用機械）といった、米トランプ関税の影響により受注状況が左右されたという声が聞かれた。

非製造業では、売上判断DIが「悪化」超11.3%と、前期比5.9pt低下した（図表4）。企業からは、「天候に恵まれず、季節商品、白物家電の売上が想定より弱い」（小売業：家電量販店）、「催事やセールにより集客は良いものの、不安定な気温差により季節商材が鈍い」（小売業）など、これまでの物価高に加え、異常気象による消費マインドの低迷を指摘する声が多くあがっている。

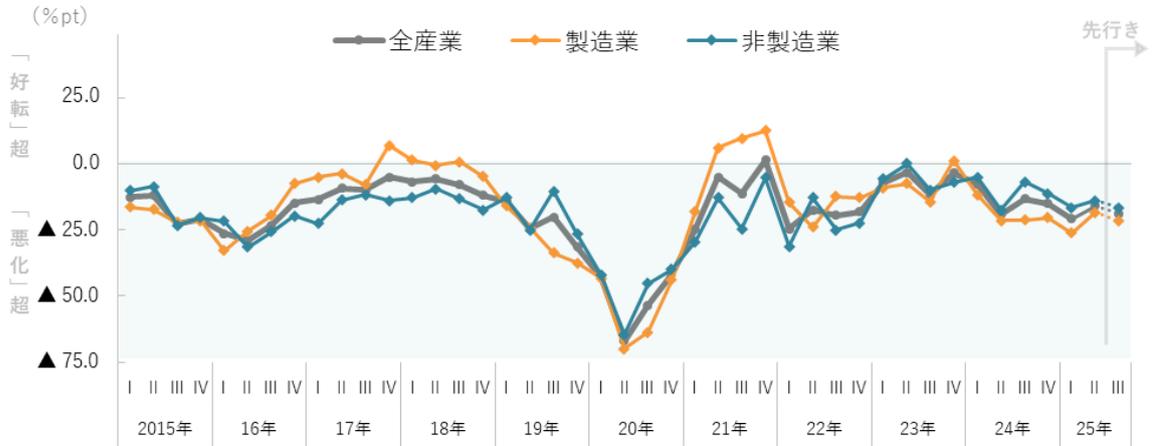
先行きは、国内の動向に加え、海外経済の動向に注視

次期（2025年7～9月期）の自社業況総合判断DIは、全産業で「悪化」超22.4%と今期から3.7pt低下、業種別では、製造業が同35.5%と13.7pt低下、非製造業が同13.7%と概ね横ばい（2.9pt上昇）の見通しとなった（図表1）。企業は先行きについて、「季節商品の生産量・在庫は増加の見込みだが、原材料の更なる値上げ、労務費の増加で収益面では厳しい」（食料品製造業）、「物価高騰が続くと思われ、今後も荷動きが悪い状態が続くと予想」（物流・倉庫業）など、幅広い業種で今後も物価高や労務費の高騰を危惧している。また、米トランプ関税について企業からは、「米国の追加関税の影響による輸出減少や、世界的な景気後退のリスクが依然として不透明な状況にある」（輸送機械製造業）などの声も引き続き聞かれた。

先行きは米トランプ政権の政策をはじめとする海外経済の動向、海外における地政学リスク、金融・為替市場の動向、国内の物価・賃金の動向、県内企業の価格転嫁の動向などを注視する必要がある。

※「好転」－「悪化」

図表1 自社業況総合判断 DI の推移

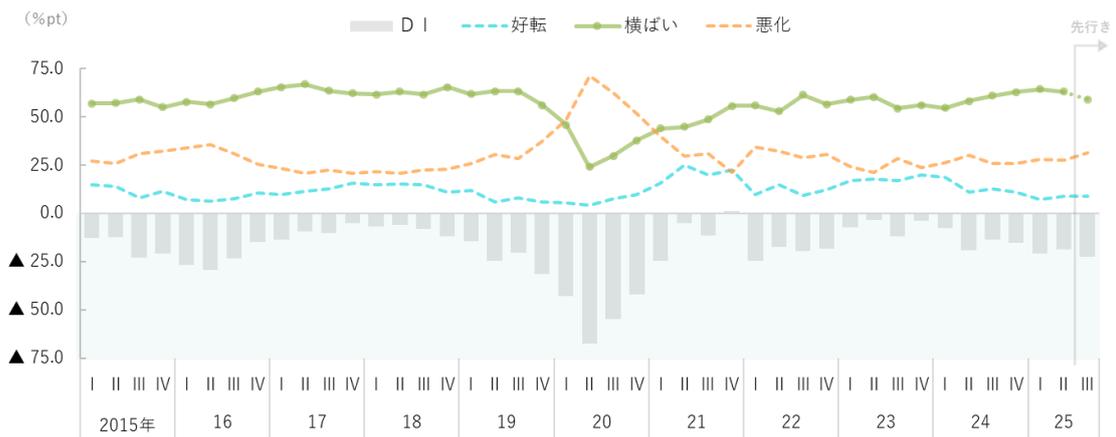


(前年同期比・%pt)

業種	2024年				2025年			
	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	前回調査 時点の予測	7~9月期 予測
全産業	▲ 7.6	▲ 19.1	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 15.9	▲ 22.4
製造業	▲ 11.6	▲ 21.4	▲ 21.2	▲ 20.3	▲ 26.2	▲ 21.8	▲ 18.4	▲ 35.5
非製造業	▲ 4.9	▲ 17.4	▲ 6.9	▲ 11.2	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 14.0	▲ 13.7

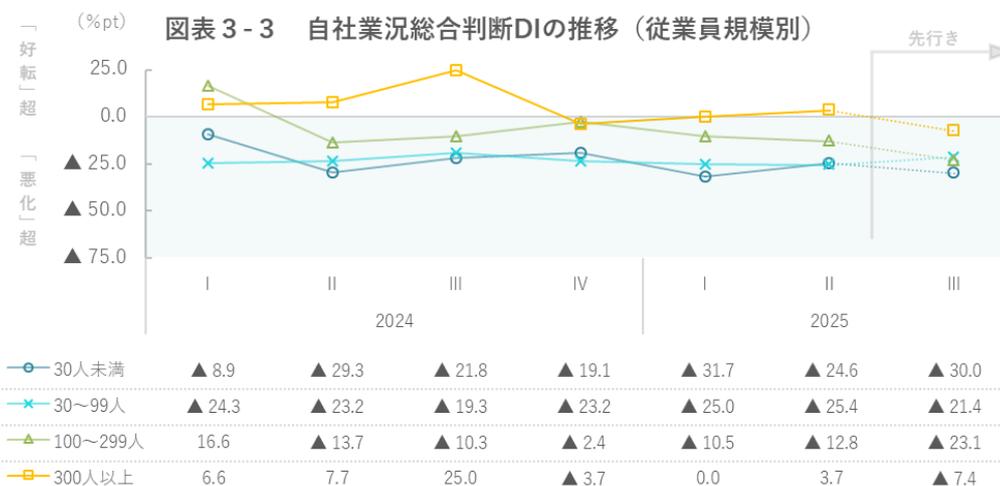
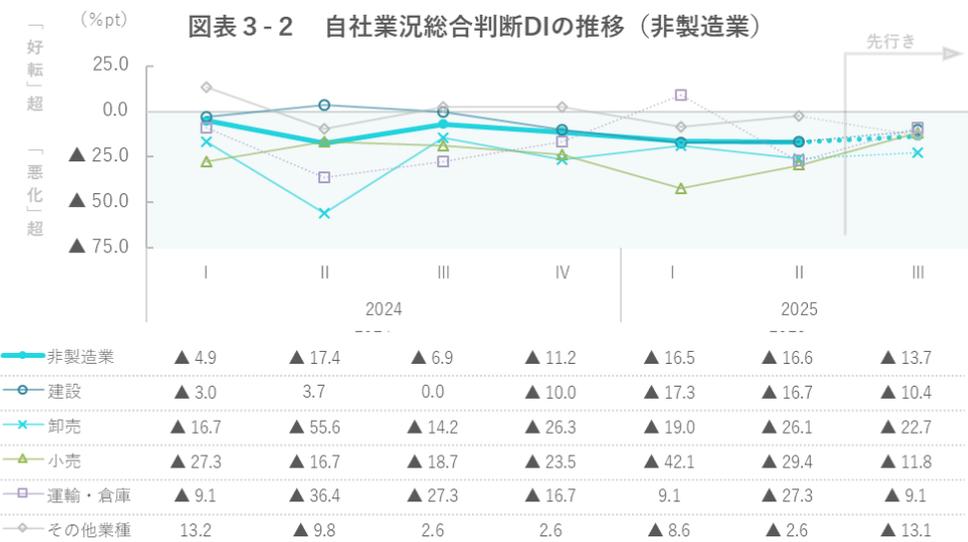
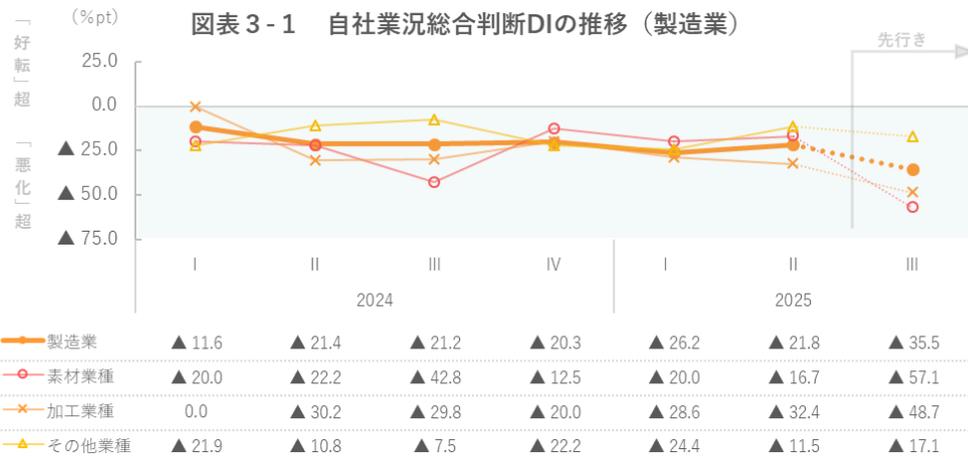
※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

図表2 自社業況総合判断の推移（全産業）



(前年同期比・%pt)

	2024年				2025年		
	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期 予測
好転	18.8	11.3	12.9	11.0	7.4	9.1	9.2
横ばい	54.8	58.3	61.0	63.0	64.5	63.1	59.2
悪化	26.4	30.4	26.2	26.0	28.1	27.8	31.6
DI	▲ 7.6	▲ 19.1	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 22.4



図表4 自社業況総合判断以外の主なDIの推移

(前年同期比、前期比・%pt)

項目	業種	2024年				2025年		
		1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期 予測
国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	8.7	▲ 9.3	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 21.5	▲ 26.3	▲ 25.3
	製造業	4.7	▲ 5.6	▲ 20.2	▲ 11.9	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 34.6
	非製造業	11.5	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 7.8	▲ 23.9	▲ 24.8	▲ 19.2
生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲ 17.6	▲ 22.4	▲ 24.8	▲ 19.1	▲ 9.1	▲ 10.2	▲ 21.5
受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲ 17.6	▲ 20.7	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 14.9	▲ 13.0	▲ 28.2
売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 12.8	▲ 3.6	▲ 4.5	▲ 7.8	▲ 12.0
	製造業	▲ 13.0	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 10.8	▲ 3.4	▲ 2.6	▲ 20.5
	非製造業	▲ 6.3	▲ 9.5	▲ 5.4	1.8	▲ 5.4	▲ 11.3	▲ 6.1
仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	54.9	59.8	57.0	55.9	62.8	55.5	47.1
	製造業	60.7	60.9	54.8	55.4	63.2	63.2	55.2
	非製造業	50.9	58.9	58.8	56.2	62.5	50.5	41.6
販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	32.3	31.1	32.7	29.7	36.1	33.9	27.4
	製造業	35.7	29.0	34.7	24.1	32.2	35.1	26.0
	非製造業	29.9	32.8	31.0	33.9	39.1	33.0	28.3
経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 15.9	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 26.5
	製造業	▲ 23.6	▲ 24.2	▲ 22.6	▲ 14.5	▲ 19.5	▲ 23.4	▲ 37.7
	非製造業	▲ 11.6	▲ 18.3	▲ 10.5	▲ 20.8	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 19.4

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

以上

茨城県内主要企業の経営動向調査結果(速報)

2025年7月11日
株式会社 常陽産業研究所

項目	業種	2022				2023				2024				2025						概況		
		1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	(前期比)	1~3 時点予想	(予想比)	7~9 予想		(今期比)	
国内景気	国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲29.4	▲15.7	▲27.1	▲23.0	▲9.7	10.7	2.8	1.5	8.7	▲9.3	▲15.1	▲9.5	▲21.5	▲26.3	(▲4.8)	▲21.1	(▲5.2)	▲25.3	(1.0)	製造業は前期比10ポイント低下し、非製造業は横ばい(-)だった。先行きは、製造業で6ポイント低下、非製造業で6ポイント上昇する見通し。
		製造業	▲24.1	▲19.8	▲18.0	▲16.9	▲13.1	0.0	2.2	4.8	4.7	▲5.6	▲20.2	▲11.9	▲18.2	▲28.6	(▲10.4)	▲17.3	(▲11.3)	▲34.6	(▲6.0)	
		非製造業	▲33.1	▲12.8	▲34.1	▲27.9	▲7.2	19.0	3.2	▲0.9	11.5	▲12.1	▲11.1	▲7.8	▲23.9	▲24.8	(▲0.9)	▲24.1	(▲0.7)	▲19.2	(5.6)	
業界景気	業界景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲25.5	▲17.5	▲21.1	▲22.7	▲10.6	▲6.9	▲14.0	▲5.5	▲9.2	▲17.3	▲20.6	▲20.0	▲26.5	▲30.3	(▲3.8)	▲21.7	(▲8.6)	▲34.0	(▲3.7)	製造業は前期から横ばい(=)、非製造業は同7ポイント低下した。先行きは、製造業で10ポイント低下、非製造業で横ばい(+)となる見通し。
		製造業	▲18.0	▲25.0	▲21.3	▲22.3	▲15.0	▲12.7	▲21.7	▲2.4	▲16.3	▲21.4	▲26.6	▲25.0	▲30.7	▲30.7	(0.0)	▲23.0	(▲7.7)	▲41.0	(▲10.3)	
		非製造業	▲30.4	▲12.2	▲21.0	▲22.9	▲7.1	▲2.4	▲8.2	▲7.9	▲4.1	▲14.1	▲15.6	▲16.3	▲23.3	▲30.0	(▲6.7)	▲20.9	(▲9.1)	▲29.4	(0.6)	
自社業況	自社業況総合判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲24.6	▲17.4	▲19.5	▲18.1	▲7.1	▲3.3	▲11.7	▲3.5	▲7.6	▲19.1	▲13.3	▲15.0	▲20.7	▲18.7	(2.0)	▲15.9	(▲2.8)	▲22.4	(▲3.7)	製造業は前期比4ポイント上昇し、非製造業は横ばい(-)だった。先行きは、製造業で14ポイント低下、非製造業で概ね横ばい(+)となる見通し。
		製造業	▲14.6	▲24.0	▲12.4	▲12.8	▲9.0	▲7.4	▲14.3	1.2	▲11.6	▲21.4	▲21.2	▲20.3	▲26.2	▲21.8	(4.4)	▲18.4	(▲3.4)	▲35.5	(▲13.7)	
		非製造業	▲31.2	▲12.8	▲25.0	▲22.4	▲5.7	0.0	▲9.8	▲7.1	▲4.9	▲17.4	▲6.9	▲11.2	▲16.5	▲16.6	(▲0.1)	▲14.0	(▲2.6)	▲13.7	(2.9)	
売上(出荷)	売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲17.2	▲9.3	▲5.5	4.8	0.9	0.4	▲9.0	1.1	▲9.1	▲11.4	▲12.8	▲3.6	▲4.5	▲7.8	(▲3.3)	▲7.7	(▲0.1)	▲12.0	(▲4.2)	製造業は前期から横ばい(+)、非製造業は同6ポイント低下した。先行きは、製造業で18ポイント低下、非製造業で5ポイント上昇する見通し。
		製造業	▲13.3	▲14.7	8.0	12.7	▲7.3	1.1	▲11.0	7.1	▲13.0	▲13.6	▲21.7	▲10.8	▲3.4	▲2.6	(0.8)	▲11.6	(9.0)	▲20.5	(▲17.9)	
		非製造業	▲20.0	▲5.4	▲16.2	▲1.7	7.7	0.0	▲7.6	▲3.7	▲6.3	▲9.5	▲5.4	1.8	▲5.4	▲11.3	(▲5.9)	▲4.7	(▲6.6)	▲6.1	(5.2)	
生産	生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲16.9	▲16.8	7.9	11.7	▲11.2	▲12.6	▲19.8	2.4	▲17.6	▲22.4	▲24.8	▲19.1	▲9.1	▲10.2	(▲1.1)	▲13.8	(3.6)	▲21.5	(▲11.3)	前期から概ね横ばい(-)だった。先行きは11ポイント低下する見通し。
受注	受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲7.2	▲10.6	2.3	10.7	▲10.2	▲7.5	▲15.2	2.4	▲17.6	▲20.7	▲20.4	▲16.9	▲14.9	▲13.0	(1.9)	▲13.9	(0.9)	▲28.2	(▲15.2)	前期から概ね横ばい(+)だった。先行きは15ポイント低下する見通し。
操業率	操業率DI (「増加」-「減少」)	製造業	▲13.2	▲7.3	3.4	7.4	▲6.0	▲7.4	▲14.4	▲6.9	▲16.2	▲19.1	▲24.4	▲17.9	▲10.4	▲3.8	(6.6)	▲11.6	(7.8)	▲20.2	(▲16.4)	前期比7ポイント上昇した。先行きは16ポイント低下する見通し。
在庫	製品在庫DI (「過剰」-「不足」)	製造業	10.0	17.0	20.0	10.8	11.4	20.5	18.9	16.7	12.1	11.5	6.4	14.6	10.4	14.1	(3.7)	3.5	(10.6)	12.8	(▲1.3)	前期比4ポイント上昇した。先行きは概ね横ばい(-)となる見通し。
販売価格	販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	19.3	29.8	35.8	44.3	40.8	40.0	33.1	34.5	32.3	31.1	32.7	29.7	36.1	33.9	(▲2.2)	36.6	(▲2.7)	27.4	(▲6.5)	製造業は前期から概ね横ばい(+)、非製造業は同6ポイント低下した。先行きは、製造業で9ポイント低下、非製造業で5ポイント低下する見通し。
		製造業	19.8	33.4	33.7	55.7	44.9	39.8	28.3	35.3	35.7	29.0	34.7	24.1	32.2	35.1	(2.9)	31.7	(3.4)	26.0	(▲9.1)	
		非製造業	19.0	27.2	37.7	35.1	37.5	40.2	37.0	33.9	29.9	32.8	31.0	33.9	39.1	33.0	(▲6.1)	40.3	(▲7.3)	28.3	(▲4.7)	
仕入価格	仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	58.9	69.2	72.3	71.7	73.6	60.9	56.8	56.4	54.9	59.8	57.0	55.9	62.8	55.5	(▲7.3)	59.2	(▲3.7)	47.1	(▲8.4)	製造業は前期から横ばい(=)、非製造業は同12ポイント低下した。先行きは、製造業で8ポイント低下、非製造業で9ポイント低下する見通し。
		製造業	75.9	79.2	80.9	79.0	77.3	63.8	46.8	57.6	60.7	60.9	54.8	55.4	63.2	63.2	(0.0)	51.7	(11.5)	55.2	(▲8.0)	
		非製造業	47.0	61.9	65.6	65.8	70.8	58.5	64.5	55.3	50.9	58.9	58.8	56.2	62.5	50.5	(▲12.0)	64.9	(▲14.4)	41.6	(▲8.9)	
経常利益	経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲22.7	▲24.0	▲21.7	▲20.7	▲19.0	▲13.5	▲17.0	▲7.6	▲16.5	▲20.8	▲15.9	▲18.2	▲22.2	▲21.2	(1.0)	▲20.3	(▲0.9)	▲26.5	(▲5.3)	製造業は前期比4ポイント低下し、非製造業は同4ポイント上昇した。先行きは、製造業で14ポイント低下、非製造業で横ばい(+)となる見通し。
		製造業	▲19.5	▲36.5	▲24.8	▲16.8	▲28.6	▲19.3	▲19.6	▲2.3	▲23.6	▲24.2	▲22.6	▲14.5	▲19.5	▲23.4	(▲3.9)	▲27.9	(4.5)	▲37.7	(▲14.3)	
		非製造業	▲24.8	▲15.4	▲18.8	▲23.7	▲11.4	▲9.0	▲15.0	▲11.4	▲11.6	▲18.3	▲10.5	▲20.8	▲24.2	▲19.9	(4.3)	▲14.6	(▲5.3)	▲19.4	(0.5)	
雇用	雇用判断DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲0.5	3.0	0.4	▲4.6	▲1.3	2.3	▲4.6	▲2.0	0.0	▲2.5	▲11.5	▲13.2	▲13.8	▲3.0	(10.8)	▲3.0	(0.0)	▲5.6	(▲2.6)	製造業は前期比12ポイント上昇し、非製造業は同10ポイント上昇した。先行きは、製造業で5ポイント低下、非製造業で横ばい(-)となる見通し。
		製造業	▲7.2	3.1	1.1	3.2	▲4.1	1.1	1.1	▲7.0	2.4	0.0	▲13.8	▲15.5	▲14.7	▲2.5	(12.2)	▲5.7	(3.2)	▲7.6	(▲5.1)	
		非製造業	4.1	3.0	0.0	▲10.8	0.8	3.4	▲9.1	1.8	▲1.7	▲4.5	▲9.6	▲11.5	▲13.1	▲3.4	(9.7)	▲0.9	(▲2.5)	▲4.3	(▲0.9)	
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」-「苦しくなった」)	全産業	▲4.8	▲3.0	▲7.1	▲6.9	▲7.7	▲4.2	▲8.5	▲4.1	▲5.3	▲10.4	▲10.9	▲7.6	▲7.5	▲7.7	(▲0.2)	▲9.7	(2.0)	▲5.6	(2.1)	製造業は前期から横ばい(-)、非製造業は横ばい(+)だった。先行きは、製造業で横ばい(-)、非製造業で3ポイント上昇する見通し。
		製造業	▲7.2	▲11.7	▲11.2	▲12.6	▲11.3	▲6.5	▲6.5	▲3.5	▲5.9	▲11.5	▲11.9	▲6.0	▲8.1	▲9.1	(▲1.0)	▲17.1	(8.0)	▲9.2	(▲0.1)	
		非製造業	▲3.2	2.9	▲4.2	▲2.5	▲4.8	▲2.5	▲9.9	▲4.5	▲4.9	▲9.6	▲10.3	▲8.7	▲6.9	▲6.6	(0.3)	▲4.4	(▲2.2)	▲3.4	(3.2)	
設備投資	設備投資 実施割合	全産業・実績 (6か月前計画)	59.5 (55.7)	55.3 (58.1)	53.0 (53.9)	60.0 (56.5)	52.9 (54.9)	56.5 (55.0)	51.7 (53.2)	(▲4.8)									(▲1.5)	53.2	(1.5)	当初計画(6か月前計画)と比べると、製造業は6ポイント上昇し、非製造業は7ポイント低下した。前期実績(6か月前実績)と比べると、製造業は概ね横ばい(+)、非製造業は9ポイント低下した。先行きは、製造業で6ポイント低下、非製造業で7ポイント上昇する見通し。
		製造業・実績 (6か月前計画)	62.5 (58.3)	60.0 (64.2)	51.6 (53.7)	59.3 (58.1)	56.2 (60.7)	57.1 (61.9)	58.2 (51.9)	(1.1)									(6.3)	51.9	(▲6.3)	
		非製造業・実績 (6か月前計画)	57.4 (53.9)	51.6 (53.3)	54.1 (54.1)	60.5 (55.3)	50.4 (50.4)	56.0 (50.0)	47.5 (54.1)	(▲8.5)										(▲6.6)	54.1	

<調査期日> 2025年6月時点(回答受付:6月2日~20日)
<調査対象> 459社
<有効回答> 201社(製造業79社、非製造業122社)

※DIは前年同期比、ただし販売価格・仕入価格・資金繰りは前期比
※設備投資の実績は2025年1~6月期、先行きは2025年7~12月期
※概況では、今期の前期比・次期の今期比等について、ポイント差が1.0未満のものを「横ばい」、1.0以上3.0未満のものを「概ね横ばい」と記載している
(参考として、ポイント差がプラスの場合は(+)、マイナスの場合は(-)、0.0の場合は(=)を、「横ばい」・「概ね横ばい」の右側に記載)

※表中のDI値・実績値の赤字は前期比マイナスを示す